

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

枚 数

3 枚目

3 枚中

冒頭の「生成 AI を活用する具
体的な事例等」で想定した事例
を簡潔に記述すること。記述の
内容が採点者の頭にぼやけて浮
かんでこない。

受験申込書に記入した専門とする事項

は各用紙とも必ず記入すること。

1. ア) イ) ... で統一すること

用に伴う社会的課題

(1) - 1

容

「万が一、」は必要か？

明確にする制度化

「生成 AI を開発が
し人」の過失が
問われ得るか？
あり得るなら、AI を
あ搭載したシステ
ム、プログラムの
開発者（組織・会
社）では？

万が一、生成 AI を利用してトラブルが
責任を負うべきなのかという問題がある。

生成 AI を扱っている人間に非があるのか、
AI を開発した人の過失なのかといった判断が非常に
難しくなる。このため、責任の所在を明確にする制度
化が課題である。

(1) - 2 判断基準の策定（基準の観点）

膨らが行われる。

ら必要に応じ、場合がある。

断を行っている。これら
れるため、時としてその
判断した場合は、判断するまでの経緯や理由を説明す
ることができ、生成 AI は、プロセスを説明でき
ないので、説明を求められるシーンなどでどう対応す
るかというのが問題となる。このため、プロセを明確
にするため判断基準が課題である。

プロセスを説明
できるスレな
を開発するは
で、問題ない
明、問の

て自動行わ
ない。人間が

(1) - 3 雇用形態再構築の推進（人材の観点）

生成 AI の普及により、これまで人間が行っていた作
業が次々に機械化・自動化されることが予測される。
生成 AI が人間を超えればさらに活用分野が増え、今ま
で必要だった人手が不要となり大量の失業者が出るこ
とが問題となる。このため、雇用形態の再構築を推進
することが課題である。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号										
問題番号	I	—	1	—	●					

技術 科目	建設 部門	受験申込書に記入した専門とする事項
選択 科目	施工計画、施工設備及び積算	

枚数
3 枚目
3 枚中

○受験番号、問題番号、技術部門、選択科目及び受験申込書の記入した専門とする事項は各用紙とも必ず記入すること。

[illegible]

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号									
問題番号	I — 1 — ●								

技術 部用	建設 部門	受験申込書に記入した専門とする事項
選択 科目	施工計画、施 び積算	(1) - 3 雇 用 形 態 重 構 筑 の 培 准 (人

枚 数
3 枚目 3 枚中

○受験番号、問題番号、技術部門、選択科目及び受験申込書の記入した専

[illegible]

3	.	波及効果と懸念事項
---	---	-----------

(3) - 1 波及効果：労働不足の解消

	制	度	化	す	る	こ	と	で	、	適	正	な	利	用	と	促	進	に	繋	が	り	自	動			
運	転	技	術	な	ど	が	普	及	す	る	懸念事項⇒将来 生じられたい 記載される（現在の）問題										高	齢	化	社	会	に
お	け	る	労	働	不	足	の	解	消	に																

(3) - 2	懸念事項		
-----------	------	--	--

[illegible]

(3) - 3 そ の 対 策

	生	成	A	I	に	関	す	る	規	制	や	監	視	を	行	う	国	際	的	な	機	関	を
組	成	し	、	社	会	経	済	へ	の	影	響	や	情	報	漏	洩	、	デ	ー	タ	タ	セ	キ
ユ	リ	テ	ィ	に	対	し	て	対	策	を	講	じ	る	必	要	が	あ	る	。				

4. 技術者としての倫理と社会の持続可能性

(4) - 1 技術者としての倫理

生	成	A	I	に	よ	る	活	用	に	よ	っ	て	、	社	会	経	済	が	混	乱	す	る	こ	
と	の	な	い	よ	う	国	民	の	安	全	を	最	優	先	に	考	え	る	。					

(4) - 2 社 会 の 持 続 可 能 性

生	成	A	I	に	よ	る	活	用	に	よ	っ	て	、	国	民	の	生	活	に	変	化	が	生
じ	て	場	合	に	つ	い	て	も	、	資	源	と	エ	ネ	ル	ギ	ー	が	可	能	な	限	り
循	環	す	る	シ	ス	テ	ム	を	構	築	し	て	い	く	所	存	で	あ	る	。	以	上	